

# 令和7年度 行政評価実施結果

新ひだか町

## 令和7年度 行政評価事業一覧表

No.	担当課名	事務事業名	結果
1	教育部	ふるさとアグリチャレンジ事業（新ひだか町誕生20周年記念事業）	採 択
2	企画課	新ひだか町公衆無線LANサービス	採 択
3	農政課	福畑地区 水利施設等保全高度化事業	採 択

# 令和7年度行政評価調書

事業名	ふるさとアグリチャレンジ事業（新ひだか町誕生20周年記念事業）		担当部課名	教育部		
事業目的	<p>本事業をとおり、新ひだか町の子どもたちが自然に対する理解や関心を深めることで、まちを知ってもらい、郷土に対する愛着を育み、“新ひだか町”を好きになってもらう。</p>					
事業概要	<p>○農業体験学習の実施 子どもたちに作物の栽培から収穫までの農業体験を行ってもらい、まちの産業の歴史について学んでいただく。作物は大豆、サツマイモ、ニンジンなどを想定。</p> <p>○チャレンジ体験学習の実施 参加者自らの考えによる伝統行事や町内施設を活用したイベントを開催する。</p> <p>○その他 ・農業体験学習の実施に向け、村（土地）の選定及び使用交渉を行う。 ・参加者の公募 チャレンジャー（参加者）：町内在住の小中学生25名程度 スタッフ：町職員、小中高教職員、高校生、一般町民25名程度 ・活動内容等をYouTubeチャンネル「まなびチャンネル」等で発信</p>					
総事業費		財源内訳（単位：千円）				
		国補助金	道補助金	起債	その他	一般財源
合計	2,450	0	0	0	2,450	0
R8	2,450				2,450	
R9	0					
R10	0					
R11	0					
その他内訳						

評価結果	採択・不採択・縮小
コメント	<p>○購入物品等を見直したうえで、2カ年事業として実施する方法も検討すること。</p> <p>○しずない農業協同組合に相談しながら、事業内容や実施規模等を整理すること。</p>

# 令和7年度行政評価調書

事業名	新ひだか町公衆無線LANサービス	担当部課名	総務部企画課			
事業の目的	<p>観光施設および指定緊急避難所等に観光・防災Wi-Fiステーションを整備することで商用電源断線時にも周辺の住民及び観光客等滞在者がインターネットで情報収集できる環境を確保し、町のポータルサイト上での安否確認を含めた迅速かつ的確な観光促進・災害対応体制の準備を図る。</p> <p>また、平時では観光情報を含めた行政情報を配信するとともに訪問医療・訪問介護等、多様な行政サービスを提供できる基盤を構築する。</p>					
事業の概要	<p>○現行のフリーWi-Fiを廃止し、必要な施設に絞り、安全で利用しやすいWi-Fiへと最適化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点数を14拠点から4拠点（屋内のみ）にスリム化 静内庁舎、ぼっぼ、山手公園、三石庁舎</li> <li>・通信の暗号化を実施し、安全性を向上 暗号化なし→暗号化（WPA2）を実施</li> <li>・認証の廃止と利用時間制限の撤廃（利用しやすく） アンケート回答・接続1時間制限→パスワード掲示・制限時間撤廃</li> <li>・サーバ・サイネージなどを撤廃し故障リスクの低減 必要最低限のネットワーク機器のみでサービスを提供する</li> <li>・ランニングコスト年230万円から40万円へ削減 15回線→4回線（併せて光コラボレーションモデルへ移行）</li> </ul>					
総事業費		財源内訳（単位：千円）				
		国補助金	道補助金	起債	その他	一般財源
合計	2,722	0	0	0	0	2,722
R8	1,534					1,534
R9	396					396
R10	396					396
R11	396					396
その他内訳						

評価結果	採択・不採択・縮小
コメント	○現在設置しているWi-Fi機器については、担当部署と協議して今後の使い方を整理すること。

# 令和7年度行政評価調書

事業名	福畑地区 水利施設等保全高度化事業		担当部課名	産業建設部農政課		
事業の目的	老朽化や凍害等により劣化が進行し、一部損傷及び機能低下が生じている福畑頭首工を、本事業にて更新・強化することにより、集中豪雨等の自然災害発生時にも安全かつ確実な治水機能を発揮できる施設とし、防災機能の向上を図る。					
事業の概要	<p>福畑頭首工は昭和37年に災害復旧事業によって造成され、地域の農業に必要な不可欠なかんがい用水を供給するための重要な施設となっている。しかし、造成から63年が経過し、老朽化や凍害等により、特に下流左岸護岸擁壁の傾倒や固定堰の沈下が進んでおり、これらが崩壊すれば、地域住民の生命や財産、農業に大きな影響を与える恐れがある。</p> <p>このため、早急な修復が求められており、国や道の補助金を活用して、施設の長寿命化や防災機能の強化を図るため、護岸擁壁や固定堰の修復を行い、安定したかんがい用水の供給や下流域の被害軽減と地域全体の防災力向上が期待できる。</p>					
総事業費		財源内訳（単位：千円）				
		国補助金	道補助金	起債	その他	一般財源
合計	608,000	304,000	190,000	114,000	0	0
R8	8,000	4,000	4,000			
R9	100,000	50,000	31,000	19,000		
R10	300,000	150,000	93,000	57,000		
R11	200,000	100,000	62,000	38,000		
その他内訳						

評価結果	採択 ・ 不採択 ・ 縮小
コメント	○財源は、国・道からの補助金と町負担分として辺地債を活用するため、それぞれ活用する際は、目的等をしっかり整理したうえで活用していくこと。